

|                                     |   |  |
|-------------------------------------|---|--|
| 科目名                                 | 臨床腫瘍学特論 Topics in Clinical Oncology   |  |
| 授業形態                                | 講義  |  |
| 標準履修年次                              | 1年次   |  |
| 実施学期・曜時限等                           | 春A学期 火曜3・4時限  |  |
| 実施場所                                | 共同利用棟B 204  |  |
| 単位数                                 | 1単位   |  |
| 担当教員名                               | 山下美智代 Yamashita Michiyo<br>水野道代 Mizuno Michiyo<br>牟田理恵子 Muta Rieko  |  |
| ティーチングフェロー(TF)・<br>ティーチングアシスタント(TA) |   |  |
| オフィスアワー等<br>授業の到達目標<br>(学習成果)       | <p>事前に予定を確認の上で訪室すること</p> <p>病態生理学全般の中から、特に、代表的な治療法および代表的疾患(腫瘍)の標準治療および症状管理に関して学び、がん看護に関連した専門的知識を深める。</p> <p>1 代表的疾患(腫瘍)の標準治療に関する基礎的知識を習得する。<br/>2 腫瘍に特徴的な症状の管理方法を理解する。<br/>3 がん看護における腫瘍学知識の活用方法・意義について説明できる。</p>  |  |
| 他の授業科目との関連                          |   |  |
| 履修条件                                | 履修要件はないが、※はがんプロのe-ラーニングによる授業であるため、視聴に必要な手続きをとること。8、9については、各自で必要な講義を2コマ以上選択して聴講すること。   |  |
| 授業概要                                | がん看護に関連した病態生理学の専門的知識及び標準治療法について、講義等を通して学び討議によって学びを深める。  |  |
| キーワード                               | 腫瘍学、がんの標準治療、症状管理、化学療法、放射線療法   |  |
| 授業計画                                | <p>1 臨床腫瘍学ガイダンス・がん看護における標準治療の理解と症状管理</p> <p>2 薬物療法の諸理論1(抗がん剤の分類と副作用・対策)(e-ラーニング)※</p> <p>3 薬物療法の諸理論2(抗がん剤の分類と副作用・対策)(発表・討議)</p> <p>4 放射線腫瘍学/放射線生物学(e-ラーニング)※</p> <p>5 放射線腫瘍学/放射線生物学(発表・討議)</p> <p>6 Oncology emergency/支持療法(e-ラーニング)※</p> <p>7 Oncology emergency/支持療法(発表・討議)</p> <p>8・9 代表的疾患の標準治療1(消化管がん)※</p> <p>代表的疾患の標準治療2(肝・胆・膵)※</p> <p>代表的疾患の標準治療3(乳がん・内分泌腫瘍)※</p> <p>代表的疾患の標準治療4(造血器腫瘍)※</p> <p>代表的疾患の標準治療5(肺がん)※</p> <p>代表的疾患の標準治療6(泌尿器科がん)※</p> <p>代表的疾患の標準治療7(婦人科がん)※</p> <p>代表的疾患の標準治療8(皮膚がん/骨・軟部腫瘍)※</p> <p>10 がん看護における腫瘍学知識の活用(講義)</p> | <p>山下・水野・牟田 *基礎腫瘍学特論の初回日(4/15)と同日時に行う</p> <p>兵頭一之介(筑波大)</p> <p>水野道代</p> <p>盛武敬(筑波大)</p> <p>牟田理恵子</p> <p>滝口裕一(千葉大)</p> <p>山下美智代</p> <p>森脇俊和、中原朗(筑波大)</p> <p>大河内信弘、近藤匡、小田竜也(筑波大)</p> <p>大崎昭彦(埼玉医大)</p> <p>千葉滋(筑波大)</p> <p>滝口裕一(千葉大)</p> <p>上野宗久(埼玉医大)</p> <p>吉川裕之(筑波大)</p> <p>石井良征、石井朝夫(筑波大)</p> <p>水野道代</p> |
| 学修時間の割り当て及び授業外における学修方法              | 看護に重要な点を適切にとらえ、必要な箇所は十分に理解できるまで何度も繰り返し聴講する。疑問を感じている項目について、積極的に教科書を調べたりすることにより、理解を深める。e-ラーニング聴講後に行われる討議のために、事前に資料を作成し準備をすることが必要。討議では、わからないことはその場で質問して解決するとともに、科学的、論理的、厳密な議論を行うこと。  |  |
| 成績評価方法                              | <p>指定されたe-ラーニングをすべて聴講し、最終評価がC以上をもって単位を認定する。</p> <p>e-ラーニングで出題される小テストの結果は単位取得の要件となるが、最終の評点には含めない。行動目標の1～3について指導に従って大旨できればC以上と判断する。e-ラーニング講義と教科書等に基づいて討議資料を正確に作成し発表できていればB以上と判定する。資料や討議内容に最新の知見が含まれ、がん看護への知識の応用法を述べる事が出来ればA以上と判定する。e-ラーニングで学習した内容を毎回レポートしてまとめ、レポートについて教員との対面討議で発表し、質疑応答を行う、この内容を前述の基準によって評価し評点を出す。</p>  |  |
| 教材・参考文献・配布資料等                       | 適宜提示する。   |  |
| その他(受講生にのぞむことや<br>受講上の注意点等)         | 科目受講前に、科目責任者らによる受講ガイダンスを受けること。  |  |